



気づけば毎朝のコーヒーをアイスからホットで淹れるようになり、季節の移ろいを感じています。
秋といえばもっぱら読書の秋の私は、隙あらば本に手を伸ばし、本の虫と化している日々です。
秋の夜長をいい口実に、眠るぎりぎりまでページをめくるひとときを楽しんでいます。本とともに、
深まる秋を楽しみたいと思います。

(担当) M. I

目 次

1. 農業者向けの土づくり研修会の開催について
2. 「酒田んめ農マーケット」を開催します！
3. トラクターのシートベルト着用が義務化されます
4. やまがたフラワーフェスティバル 2025 が開催されます！
5. やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 食味コンクールの開催について
6. 今月のおすすめ農業体験をご紹介します！
7. 米に関するマンスリーレポート等（令和7年9月）

【1. 農業者向けの土づくり研修会の開催について】

今年は夏季の高温少雨など、近年と同様に様々な異常気象が発生しました。土づくりなどの令和8年の営農に向けて今からできること・また来春からできることに関連した研修会を以下の日程・会場で開催予定です。

日程	場所	開催時間
11/4（火）	北平田コミュニティセンター	18：00～19：30
11/5（水）	観音寺コミュニティセンター	18：00～19：30
11/10（月）	松嶺コミュニティセンター	13：30～15：00
11/10（月）	平田タウンセンター	18：00～19：30
11/17（月）	本楯コミュニティセンター	18：00～19：30
11/20（木）	広野コミュニティセンター	18：00～19：30

○講師／株式会社 ファーム・フロンティア 取締役会長 博士（農学）

藤井 弘志 氏

○主要内容／・今年の気象被害を受けて来年度の営農に向けてできること

・堆肥の有用性とその成分の計算方法・利用方法の解説 など

○参加費用／ 無料（1 会場につき20 名程度が上限）

○申し込み／不要（当日、直接会場にお越しください）

○問い合わせ先／酒田市農政課生産振興係（電話：0234-26-5752）

【2.「酒田んめ農マーケット」を開催します！】

地元でとれた新鮮な農産物や、酒田産の食材を使用した加工品などを購入できるイベント、「酒田んめ農マーケット」を開催します。好きなお花 4 本と花瓶 1 本を 500 円でご購入いただけるフラワービュッフェなど、楽しい企画もご用意しております。ぜひお越しください！

○日時／令和 7 年 11 月 1 日（土）10：00～14：00

○場所／酒田駅前交流拠点施設ミライニ（酒田市幸町一丁目 10 番 1 号）

○内容／・有機農業や環境にやさしい農業についてのパネル展示

・市内農業者による酒田産農産物、加工品等の販売

・酒田華いっぱいプロジェクトによるフラワービュッフェの実施

○問い合わせ先／酒田市スマートオーガニック検討会事務局（酒田市農政課）

（電話：0234-26-5792）

【3. トラクターのシートベルト着用が義務化されます】

トラクターでの転倒・転落による死亡事故が増えているため、令和 9 年 1 月 1 日から乗用型トラクターのシートベルト着用が義務化されます。

令和 9 年 1 月 1 日以降に製造されたトラクターに乗る農業者の皆さまは、シートベルトの着用をお願いいたします。

○適用開始日／令和 9 年 1 月 1 日

○対象／適用開始日以降に製造された座席を有するトラクター

○違反点数／シートベルトの着用義務違反 1 点

【4. やまがたフラワーフェスティバル 2025 が開催されます！】

やまがたフラワーフェスティバルが 4 年ぶりに庄内で開催されます。品評会に出品された県産の高品質な花きの販売会のほか、鉢物苗の寄せ植え教室やフラワーアレンジメント体験などのイベントをお楽しみいただけます。ぜひ足をお運びください！

○日時／10 月 18 日（土）10：00～15：00

- ・ 10：00～ 品評会出品物の販売（※引渡しは 12：00～）
- ・ 13：00～15：00 寄せ植え教室

10 月 19 日（日）10：00～15：00

- ・ 10：00～ 品評会出品物の販売
- ・ 11：00～15：00 フラワーアレンジメント体験

○場所／つるしんアリーナ小真木原（小真木原総合体育館）第2多目的ホール
（鶴岡市小真木原町 2-1）

○問い合わせ先／山形県農林水産部園芸大国推進課 野菜花き振興係
（電話：023-630-2282）

【5. やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 食味コンクールの開催について】

庄内産米のさらなる評価向上と生産者の意欲向上を図るため、庄内地域の食味コンクールが開催予定です。成績上位者は表彰のうえ県食味コンクールへ出品されます。

○応募資格／庄内地域において良食味米生産を実践し、食味向上に向けて取り組む個人または集団

○応募部門／「つや姫」、「雪若丸」、「はえぬき」の3部門

○応募方法／別紙応募申込書に玄米 2 kg を添えて管轄の農業技術普及課に提出。応募者は各部門につき 1 点応募可能

○募集期間／応募申込書および玄米の提出期限は 10 月 17 日（金）まで

○審査内容／千粒重、食味理化学性（玄米粗タンパク質含有率等）分析、白度等

○問い合わせ先／庄内総合支庁農業技術普及課

（電話：0235-64-2103／FAX：0235-64-2104）

【6. 今月のおすすめ農業体験をご紹介します！】

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会で提供している農業体験をご紹介します。
秋の美しい自然に囲まれて、実りの季節を感じることができるおすすめの農業体験
は以下のとおりです。ご興味のある方はぜひ申し込んでみてください！

・体験メニュー①：長ネギ収穫体験

提供者：村上 淳子

連絡先：0234-28-2384

期間：10月中旬～12月

料金：5kg 500円（土付き）

体験人数：2名～20名



・体験メニュー②：そば打ち体験

提供者：ごすけ（代表：岩間 政幸）

連絡先：080-5576-1492

料金：1名 1,500円

体験人数：1名～6名



・体験メニュー③：ちくりん整備体験

提供者：ホワイト・グリーン・鳥海（代表：小松 幸雄）

連絡先：0234-64-4648

料金：1名 500円（お土産付き）

体験人数：5名～10名



○申し込み／農業体験提供者へ直接連絡

○問い合わせ先／酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

（電話：0234-25-3100／HP：<https://www.sakatagreentourism.com/>）

【7. 米に関するマンスリーレポート等（令和7年9月）】

農林水産省より9月号が配信されました。

詳しくは下記 URL よりご参照ください。

○主な掲載内容

特集

- | | |
|---|------|
| 1 米の基本指針（令和7年9月19日公表）のポイント | 特集-1 |
| 2 令和7年産水稻の8月15日現在における10a 当たり収量の
前年比見込み | 特集-7 |
| 3 令和8年度農林水産予算概算要求の概要
一米の需要に応じた増産実現予算一 | 特集-9 |

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/index.html>

農林水産省（マンスリーレポート）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

農林水産省（統計情報）HP

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



さかた農林水産業お役立ち情報

発行日：毎月1回＋臨時号

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するHP

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ ページ内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、
発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ 市公式 LINE での配信の登録、配信停止等は下記リンク先を参考に設定をお願いいた
します。

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanbutsu/nosei_line.html





参加費
無料

土づくりは「未来への投資」

土づくり研修会

講師

藤井 弘志

ファーム・フロンティア会長
山形大学農学部客員教授

今年は梅雨時に降雨が少なかったうえに、著しい高温が続き稲作にとって厳しい条件でした。
来年以降も高温・乾燥対策は必須です。
令和8年の営農に向け、稲刈り後にできること、来春できること（作業・堆肥・土づくり資材など）についてお伝えします。

11月4日(火)
18:00～19:30

[会場]
北平田
コミュニティセンター

11月5日(水)
18:00～19:30

[会場]
観音寺
コミュニティセンター

11月10日(月)
13:30～15:00

[会場]
松嶺
コミュニティセンター

11月10日(月)
18:00～19:30

[会場]
平田
タウンセンター

11月17日(月)
18:00～19:30

[会場]
本楯
コミュニティセンター

11月20日(木)
18:00～19:30

[会場]
広野
コミュニティセンター

※各会場、どこに参加してもOK！申し込み不要。
ご都合の良い日をお選びください！

<お問合せ>

株式会社ファーム・フロンティア

酒田市大宮町4-9-3 (スマート農業研修センター内)

TEL/FAX:0234-25-0830/0831

E-mail:info@famfro.co.jp

Dr.藤井の
『学び舎』

コチラ▶▶▶



酒田んめ農マーケット^{の~!}

11/1

土

酒田駅前交流拠点施設ミライニ

ミライニ広場(酒田市幸町一丁目10番1号)

10:00 ▶ 14:00 ※雨天時は光の湊 ロビーにて開催

持続可能な農業についてのパネル展示

有機農業や環境にやさしい農業についてのパネル展示を行います。

地元農産物の販売会

地元の美味しい農産物がいっぱい！酒田の秋の味覚を満喫しましょう♪

フラワービュッフェ🌸

好きなお花4本と花瓶1本で500円！お花のある暮らしを始めてみませんか？



酒田の新鮮な野菜が
いっぱいだのん！

買って応援！
食べて応援だのん！

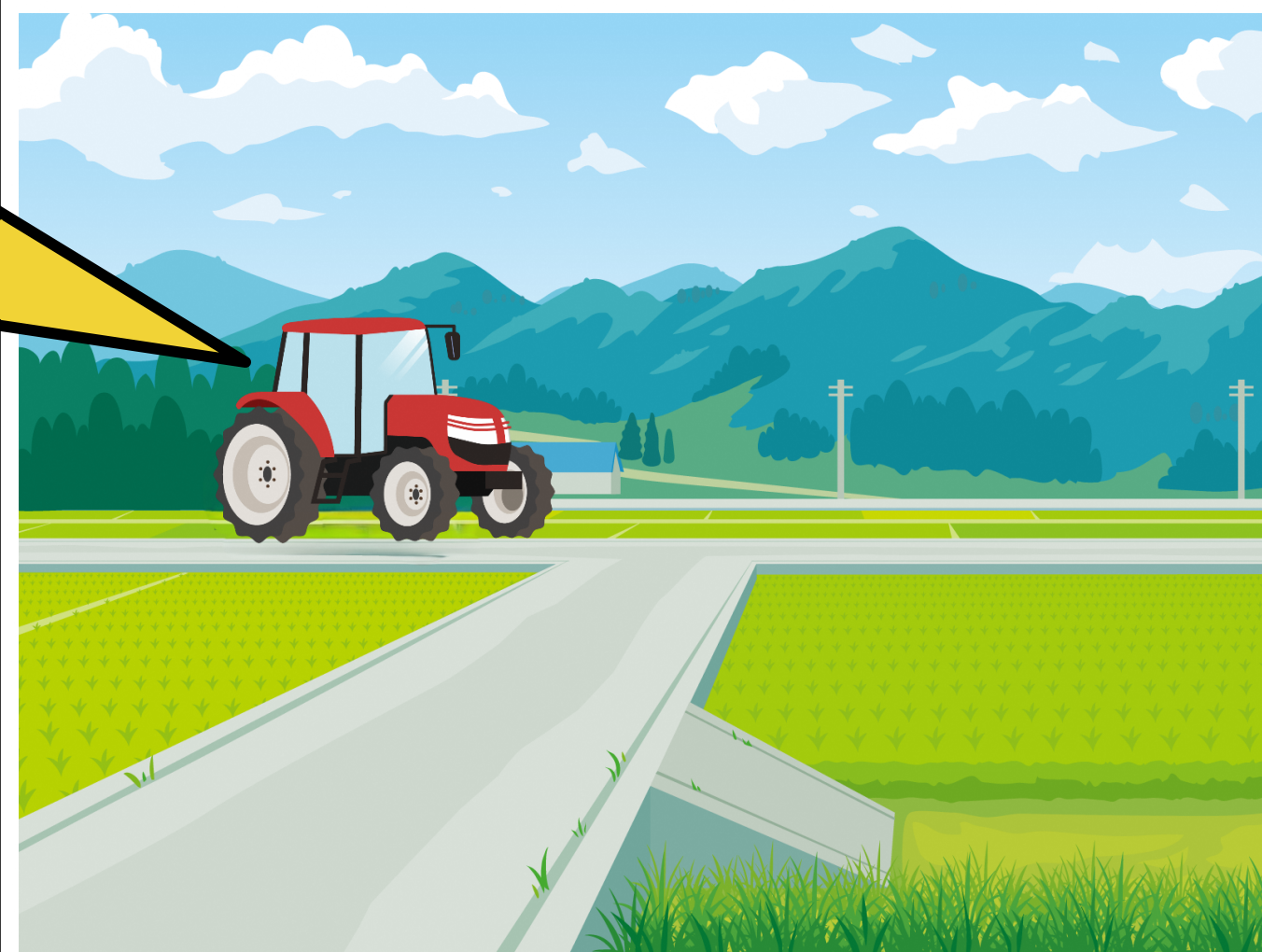
主催：酒田市スマートオーガニック検討会

事務局：酒田市農林水産部農政課 連絡先：0234-26-5792

シートベルト着用義務化



道路運送車両の保安基準改正^(※)により、乗用型トラクタで道路を走行する際には、シートベルト着用が義務化されます。 ※令和7年6月17日公布



義務化はいつから？

令和9年1月1日 からです。

どのトラクタが対象？

令和9年1月1日以降に **製造された座席を有するトラクタ**は、**大型特殊自動車**・**小型特殊自動車**に限らず対象車となります。

対象のトラクタには、ボンネット側面に座席ベルト着用義務車を示すステッカー^(※)が貼付されます。

※ステッカーのイメージ



座席ベルト着用義務車



座席ベルト着用義務車

違反した場合は？

シートベルトの着用義務違反として、**点数1点**が付されます。

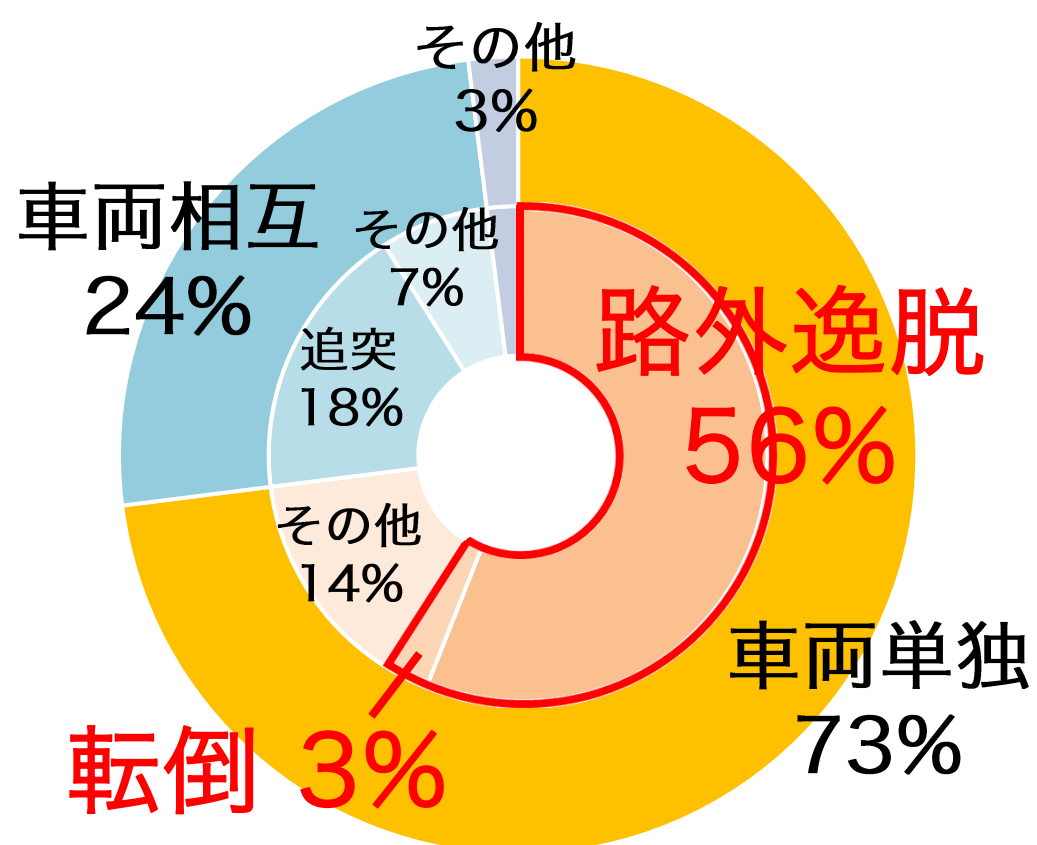
シートベルトを締めましょう！

シートベルト着用は、 トラクタの死亡事故率低下に有効です

トラクタの交通事故の特徴

農耕作業用特殊車の死亡事故は車両単独による路外逸脱・転倒が多く、特に乗用型トラクタの死亡事故が多い状況。

農耕作業用特殊車における
死亡事故類型別割合



(公財)交通事故総合分析センターのデータより農林水産省分析
(平成23年～令和2年、1当2当合計)

【トラクタでの道路走行時の危険因子】

- ・ 左右独立ブレーキの連結忘れによる片ブレーキでの予期しない旋回
- ・ 作業機による車幅の変化や重心の変化
- ・ 凸凹道や狭路等、不安定な道路の走行

路外逸脱や
転倒の可能性

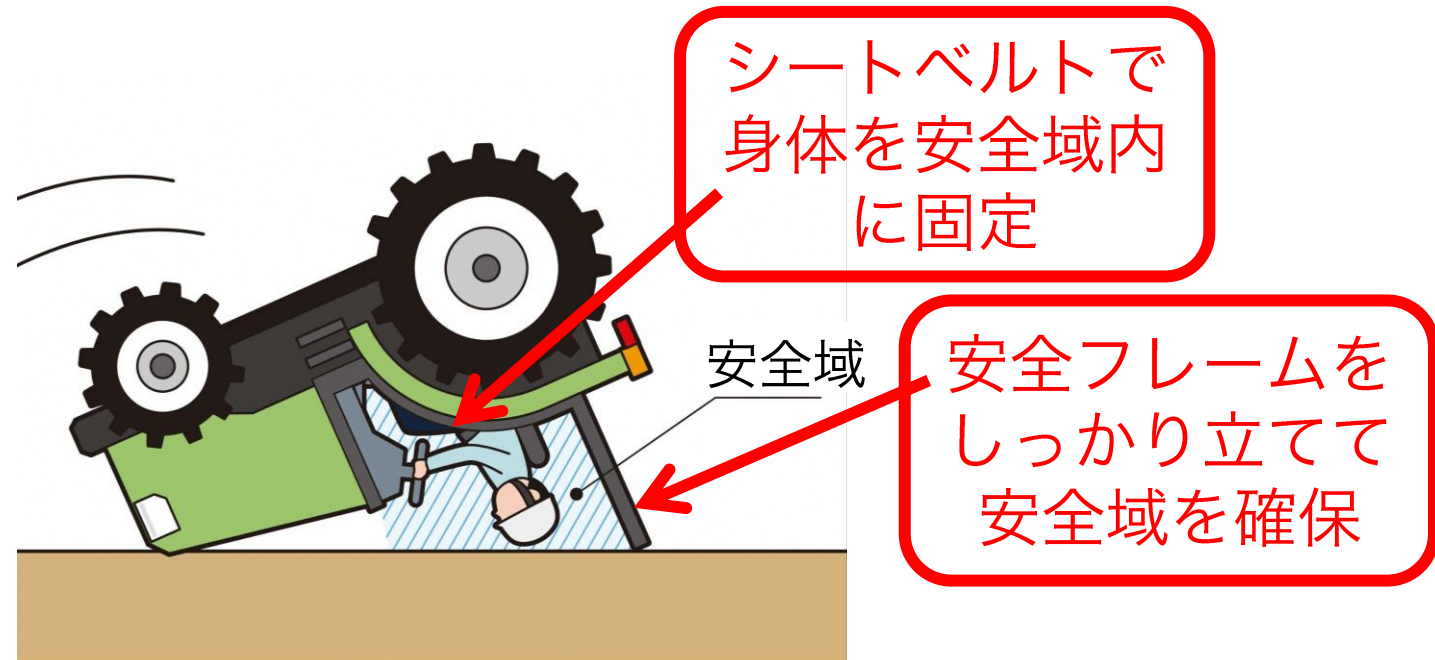
車体から投げ出される、
車体の下敷きになる等により
死亡・重傷の恐れ



Copyright (c) 2010 NARO
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 ホームページ
農業機械研究部門 農作業安全情報 イラストで見る事故事例より

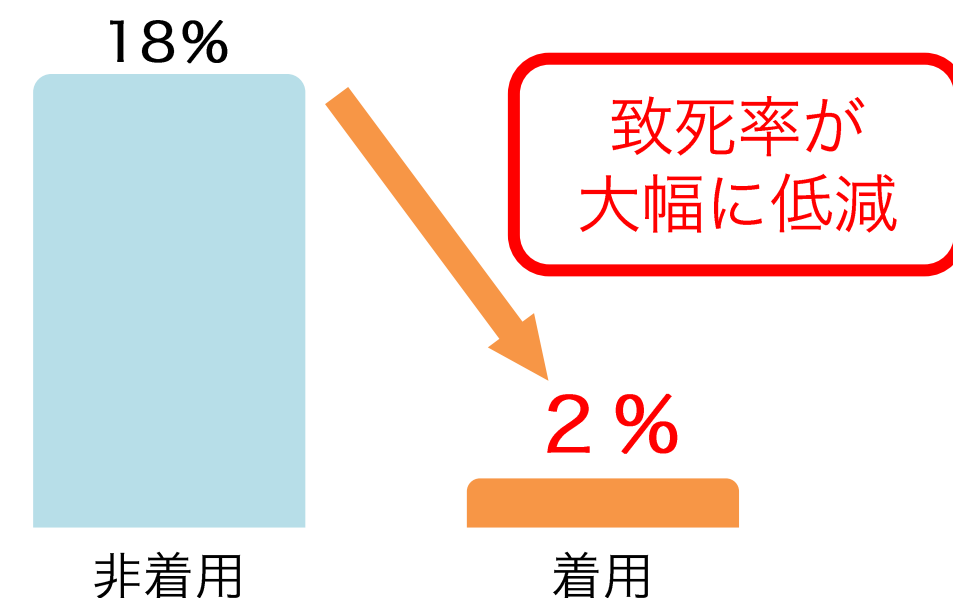
シートベルトの効果

乗用型トラクタの路外逸脱・転倒事故における死亡・重傷リスクに対し、シートベルトを安全キャブ・フレームとセットで使うことが重要！



シートベルトを着用することで安全キャブ・フレームによりつくられる安全域にとどまることができ、トラクターの下敷きになることを防ぐことができる。

農耕作業用特殊車における事故時の
シートベルト着用状況別致死率



(公財)交通事故総合分析センターのデータより農林水産省分析
(平成23年～令和2年、1当2当合計)

参考情報

農林水産省ホームページもご覧ください。

シートベルト
着用義務化に
ついて



(動画)
シートベルト
していますか



やまがた温暖化対応米づくり日本一運動食味コンクール申込書

応募部門	つや姫の部 ・ 雪若丸の部 ・ はえぬきの部 応募する品種を「○」で囲む			
申込者 氏名等	氏名または 団体名	ふりがな	年 齢	歳
	(団体の場合) 代表者名	ふりがな		
住所及び 連絡先	〒			
	電話	F A X		
	自宅			
	携帯			
経営の概況				
	1 経営面積	h a		
	2 水稲	h a	主な品種	
	3 転作作物			
	作物名：	h a	主な品種	
	作物名：	h a	主な品種	
	作物名：	h a	主な品種	
水稲の耕種概要				
	1 土づくり	k g / 10 a	(商品名)	
	2 栽植密度	株 / m ²		
	3 施肥	基肥N	k g / 10 a	
		基肥P	k g / 10 a	
		基肥K	k g / 10 a	
		追肥N	k g / 10 a	
	4 収穫・乾燥方法			
食味向上のために行っている取り組み				
安全安心のために行っている取り組み				
県産米の評価向上に資する取り組み				

※注1 栽培履歴等を添付する。

※注2 本申込書に記載されている個人情報、食味コンクールの審査以外の目的には使用しません。